

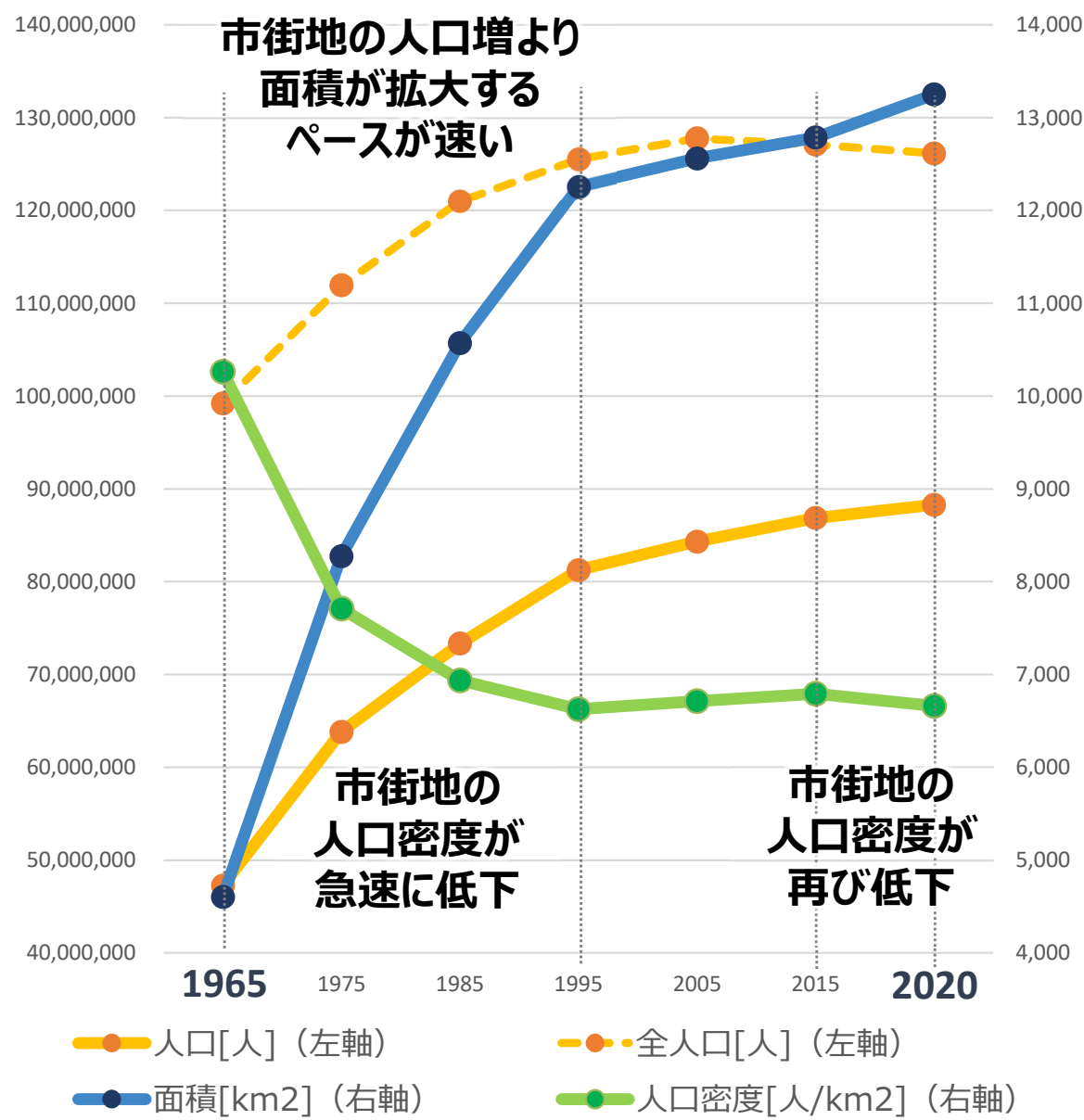
# 若者も住みたくなる！魅力あるまちづくりに向けて

---

九州地方整備局 建政部  
都市整備課 谷本

令和8年1月26日

- 1. 現状の課題**
- 2. これからのまちづくり**
- 3. 若年層にも配慮したまちづくり**
- 4. まちづくりと公共交通の連携について**



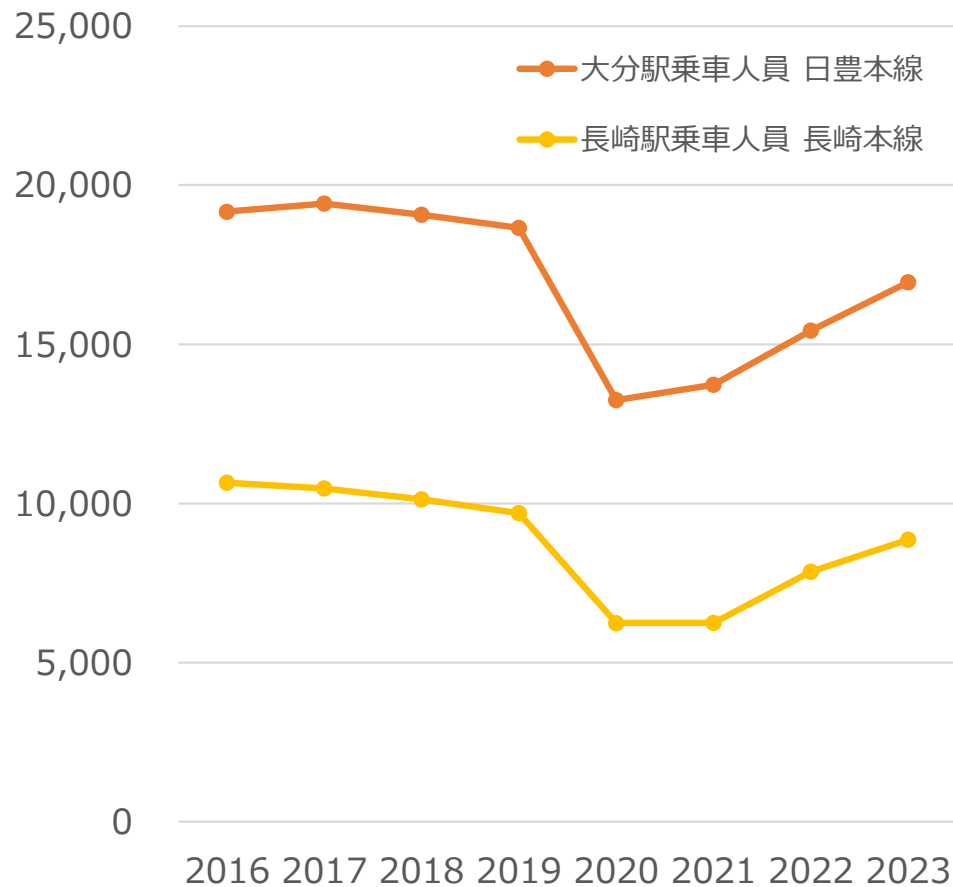
市街地（DID）の人口・面積・人口密度の推移（全国）

日本の**全人口**は**減少傾向**だが、  
**市街地面積**は**拡大継続**

一方で**市街地の人口密度**は、  
近年**横ばい**から**やや低下傾向**

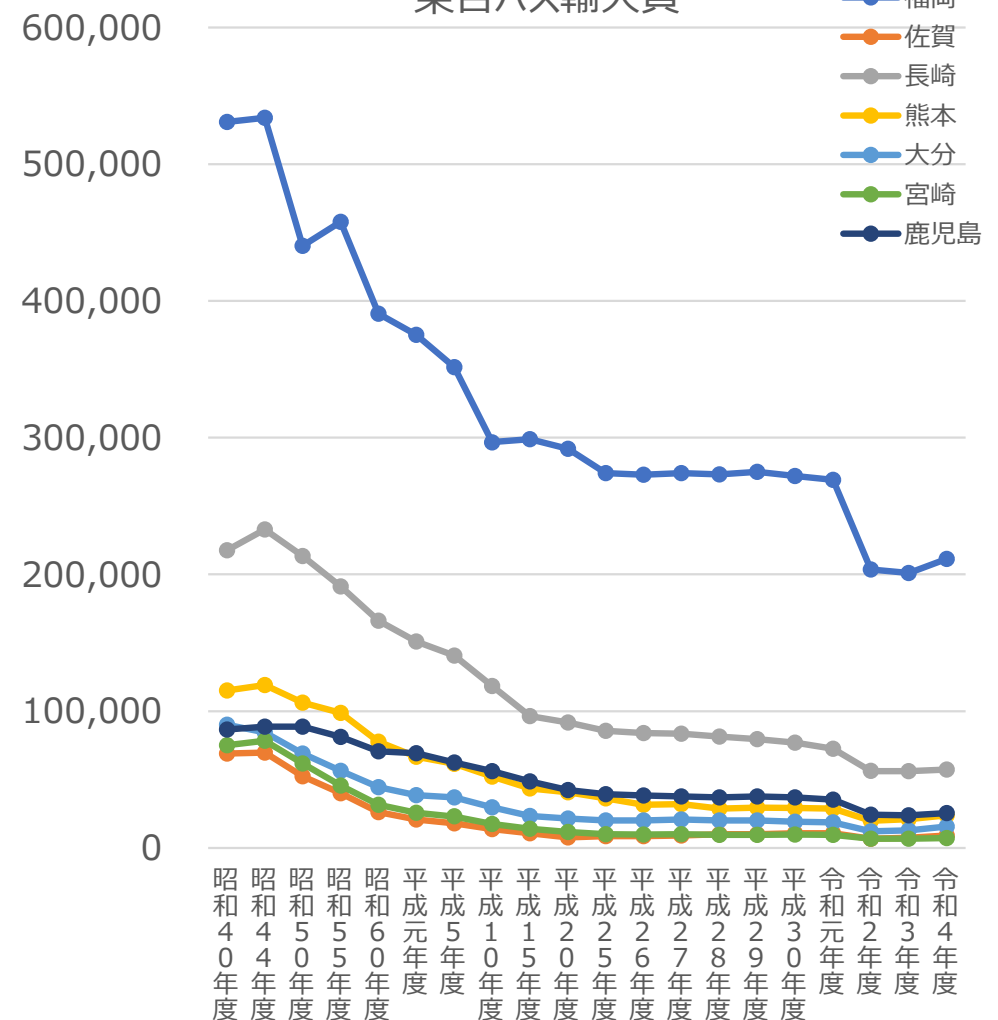
## J R長崎駅、大分駅の乗車人員は年々減少 ※コロナ禍で急激に減少、回復傾向

駅乗車人員



## 乗合バスの輸送人員についても、年々減少 昭和40年度と比較すると半分以下

乗合バス輸人員

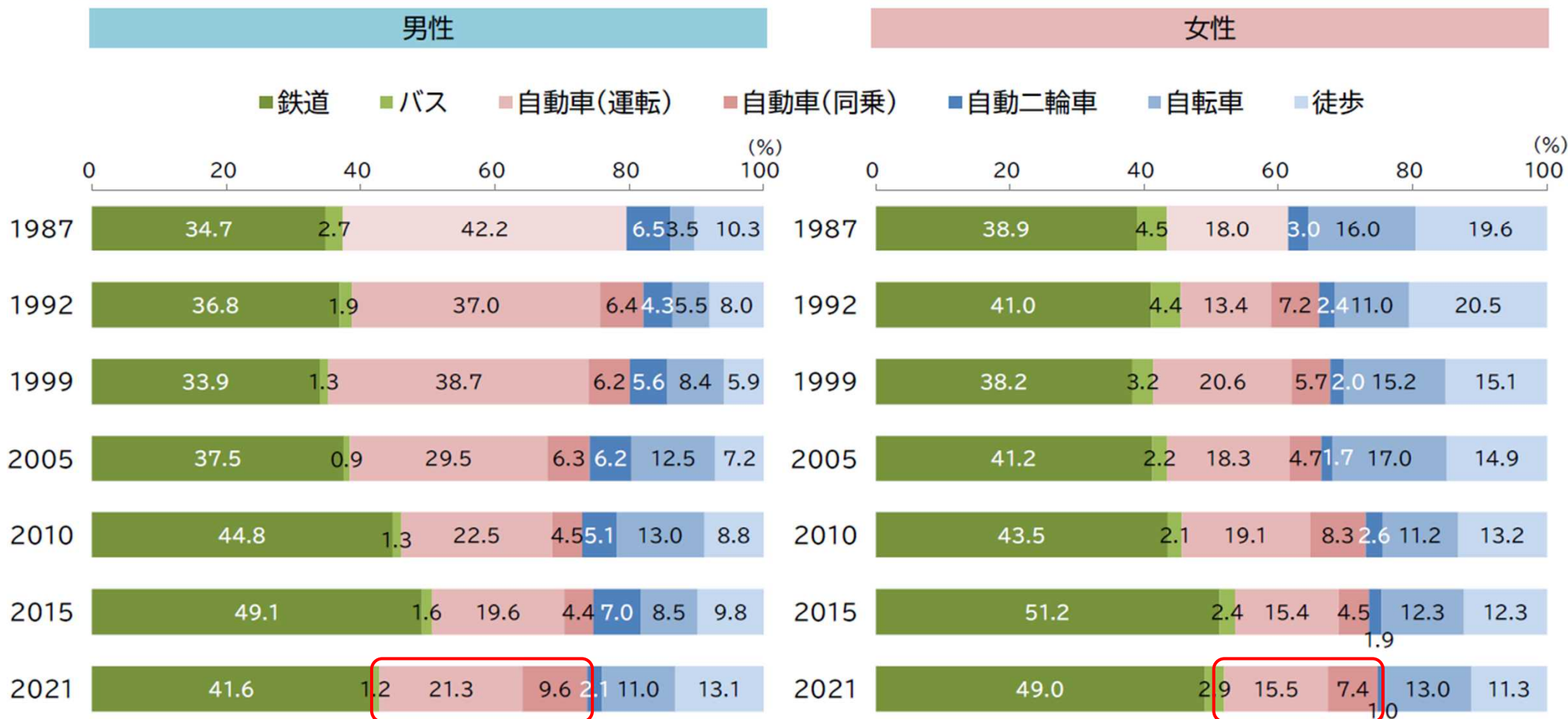


# 現状の課題（公共交通）

## 若者（20 代）の男女別・交通手段（平日・三大都市圏）

・三大都市圏では、平日における若者の車利用は減少傾向

【構成比】

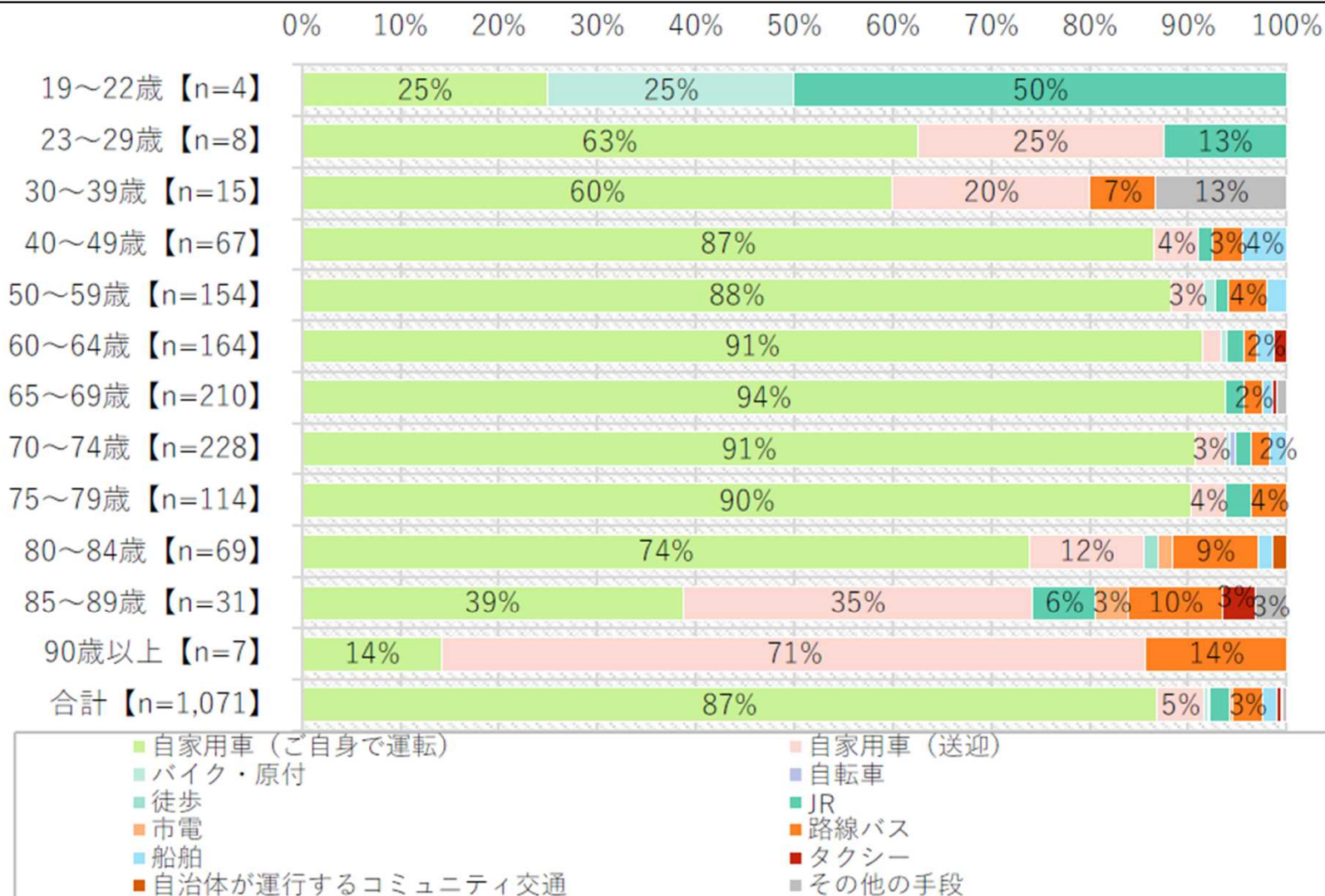


※1987 年は自動車の運転と同乗を分けずに調査

# 現状の課題（公共交通）

## 年齢別 居住している市町村外に移動する際の手段

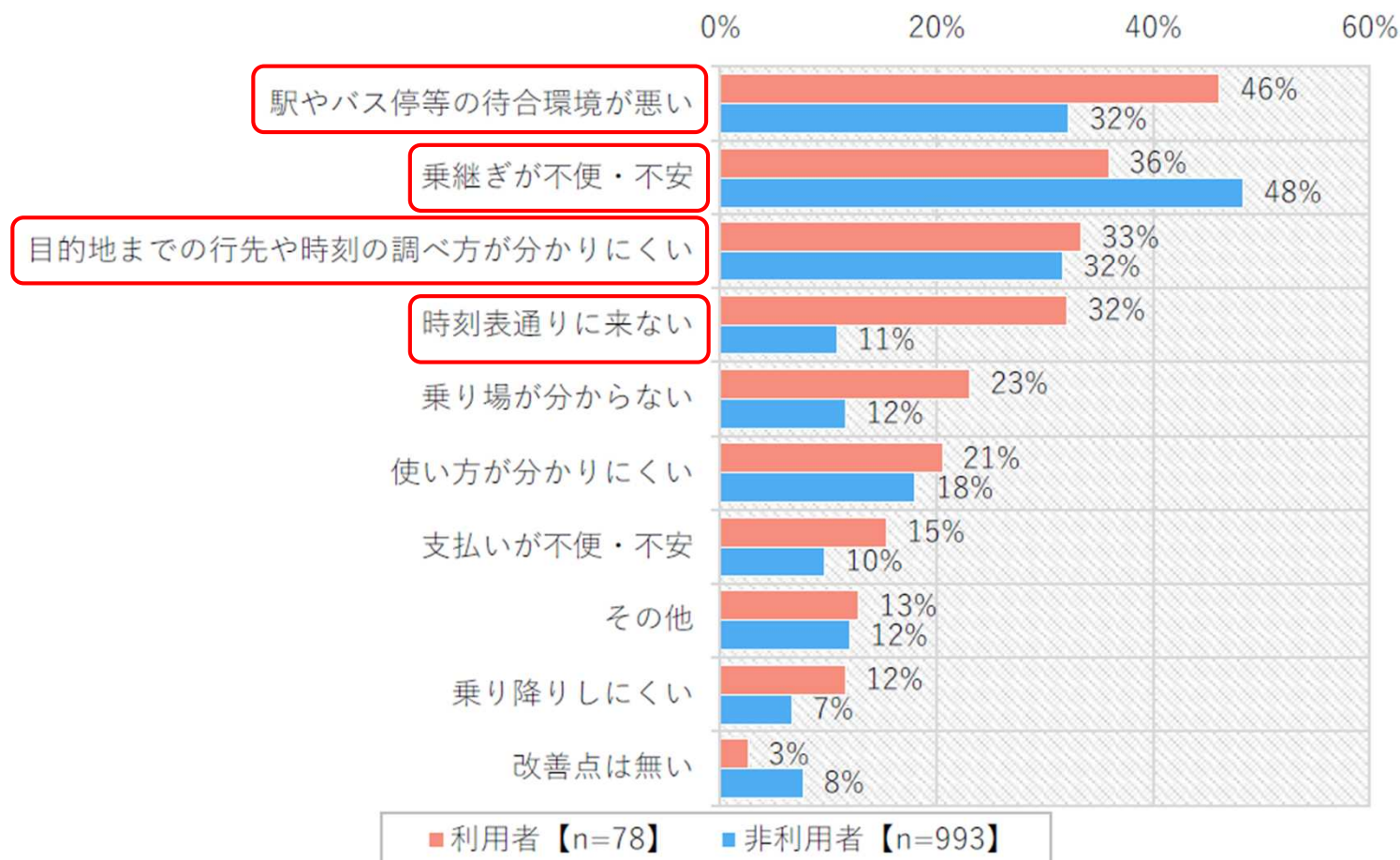
・地方部では、いまだ8割を超える車利用が継続





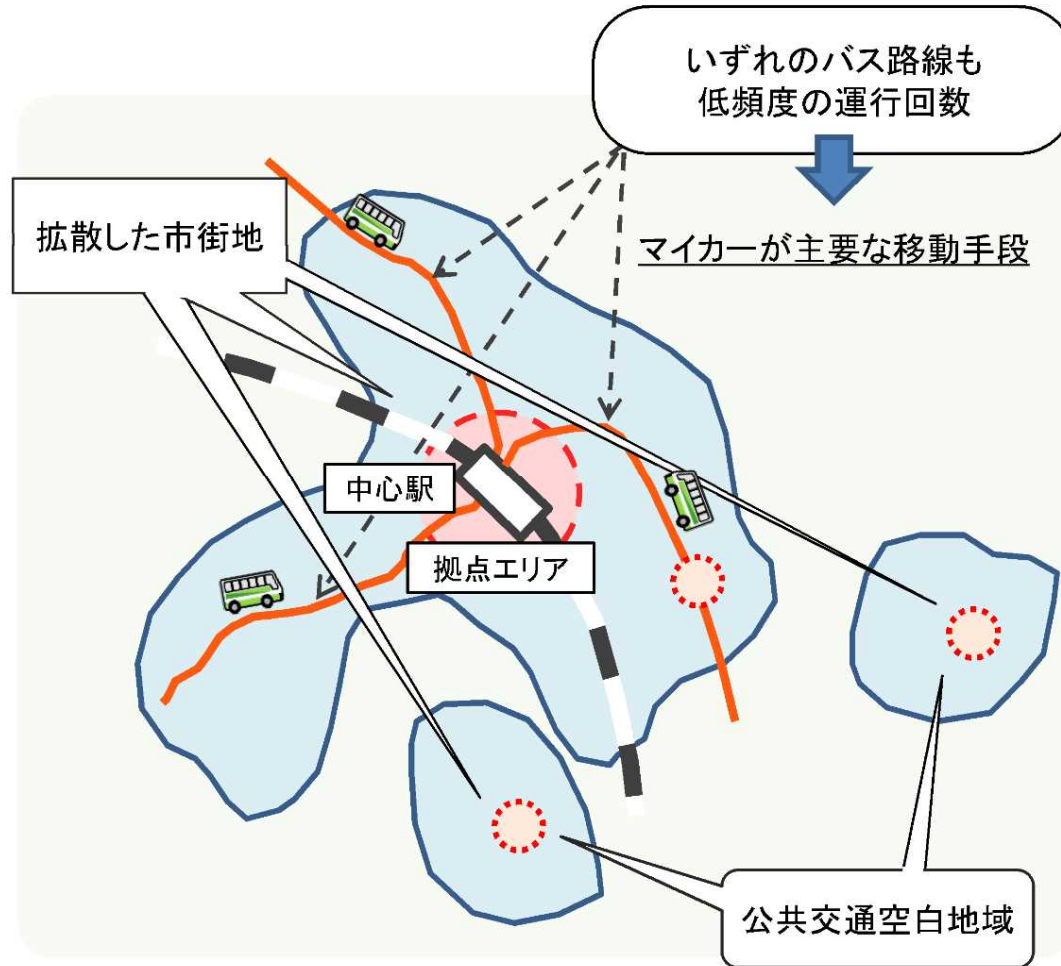
## 公共交通利用者・非利用者別 公共交通の改善点について

公共交通利用者については、「駅やバス停等の待合環境が悪い」「乗継ぎが不便・不安」「目的地までの行先や時刻の調べ方が分かりにくい」の割合が高く、「時刻表通りに来ない」は公共交通利用者の意見の割合が高い結果となった。

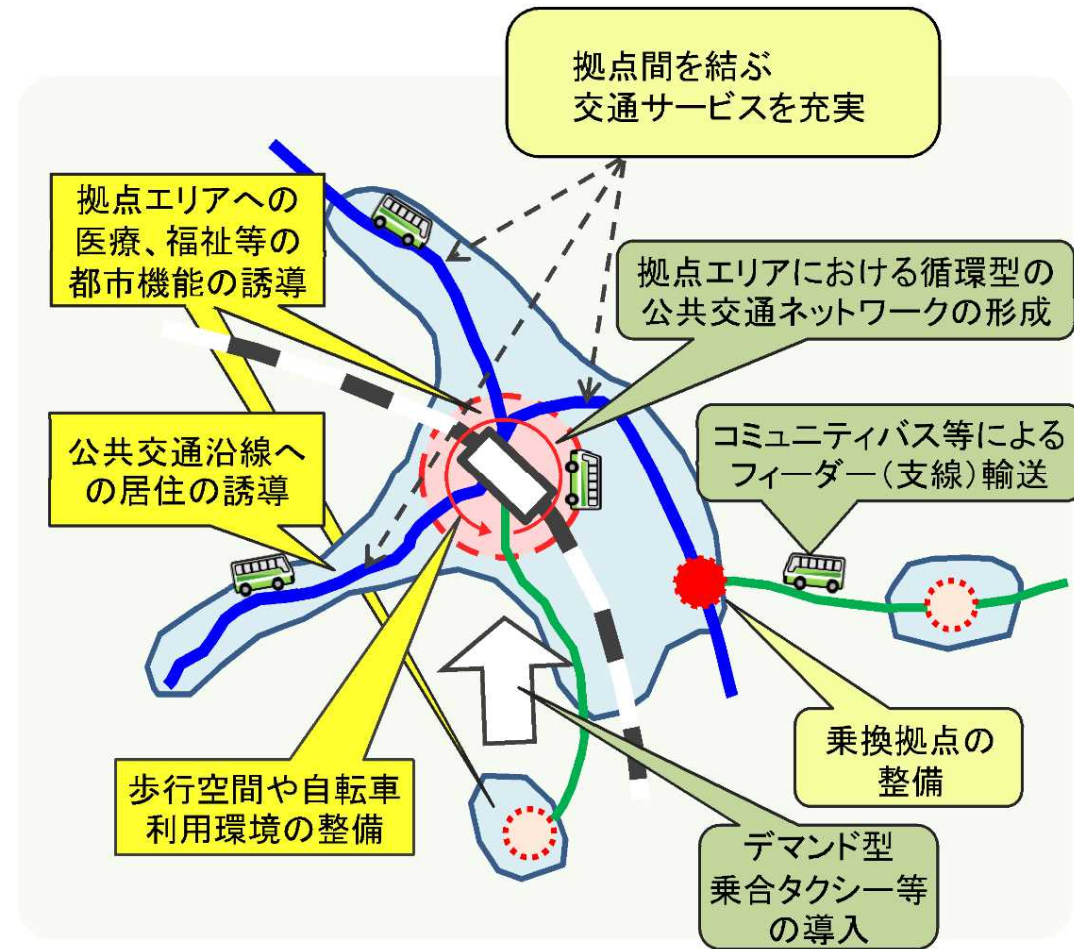


# これからのまちづくり (コンパクト・プラス・ネットワーク)

## 現 状



## これからの姿



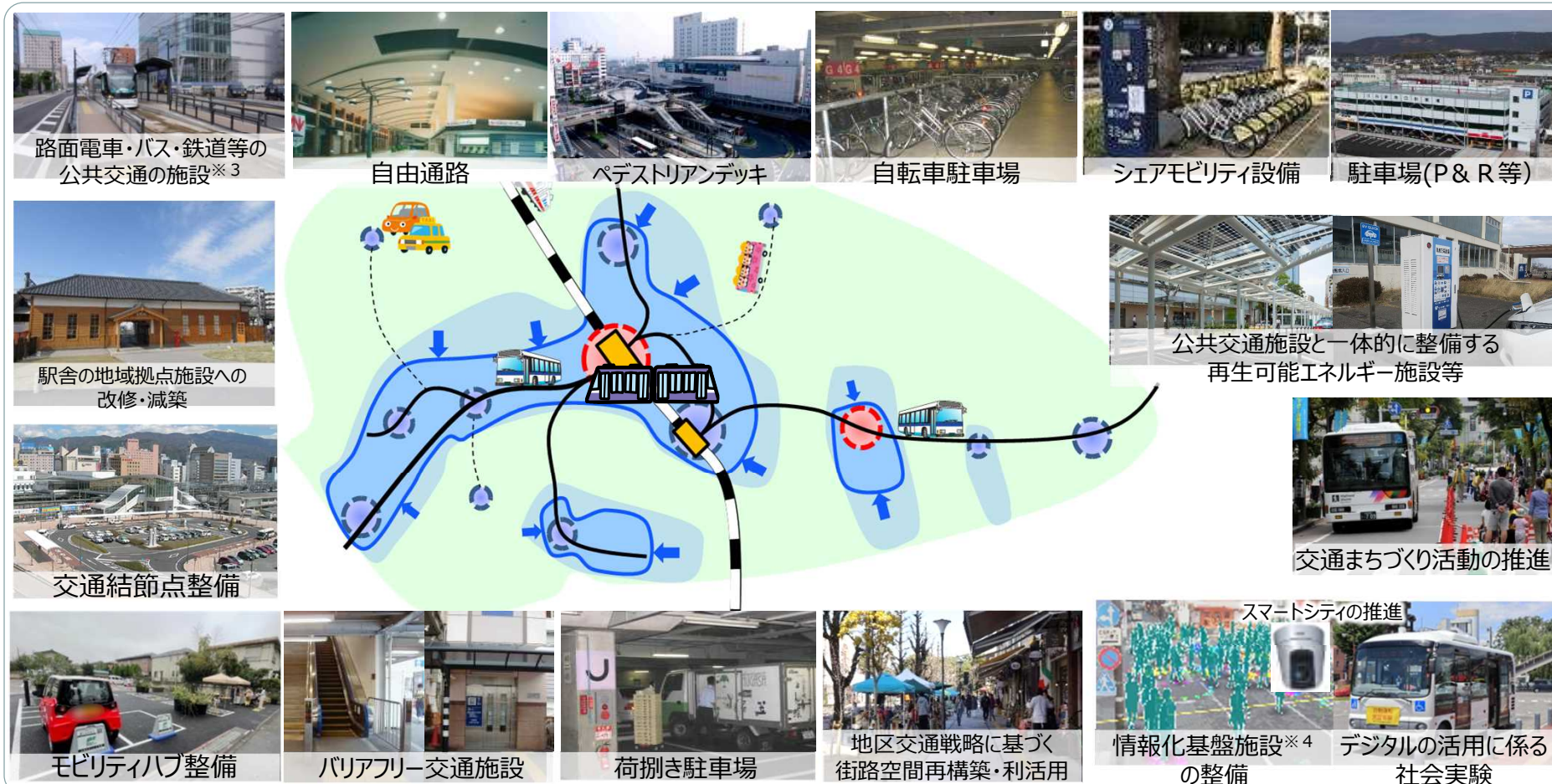
人口減少により、様々なサービス施設や公共交通が維持できず日常生活に支障を来す懸念

**利便性の高い公共交通で結ばれた  
コンパクトなまちへ**



徒歩、自転車、自動車、公共交通など多様なモードの連携が図られた、自由通路、地下街、駐車場等の公共的空間や公共交通などからなる都市の交通システムを明確な政策目的の下、都市・地域総合交通戦略等に基づき、パッケージ施策として総合的に支援

- 補助対象者※<sup>1</sup>：地方公共団体、法定協議会※<sup>2</sup>、独立行政法人都市再生機構、都市再生推進法人、認定地域来訪者等利便増進活動実施団体
  - ※<sup>1</sup> 交付金については、地方公共団体からの補助金を受けて、民間事業者等（独立行政法人都市再生機構や特定非営利活動法人等を含む）も事業実施可能
  - ※<sup>2</sup> 整備計画の作成に関する事業については、法定化を見据えた任意協議会も対象
- 補 助 率 ： 1／3、1／2 （立地適正化計画に位置付けられた事業、滞在快適性等向上区域へのアクセス等に寄与する都市交通施設整備に係る事業、地区交通戦略に位置付けられた滞在快適性等向上区域等で行われる事業、脱炭素先行地域において実施する事業、バリアフリー基本構想の重点整備地区で行われるバリアフリー交通施設の整備）
- 整備地区要件：①地区交通戦略を策定している区域で以下のいずれかに該当する地区（ただし、令和8年度までに着手する事業は、①を必須としない）
  - ②立地適正化計画を策定している区域、③都市計画区域外の地域生活拠点（都市機能誘導区域から公共交通で概ね30分の範囲）かつ一定の要件を満たす区域
  - ④基幹市町村における都市機能誘導区域と地域生活拠点を結ぶ公共交通ネットワークを含む区域、⑤都市・地域総合交通戦略を策定している（確実に策定する）区域

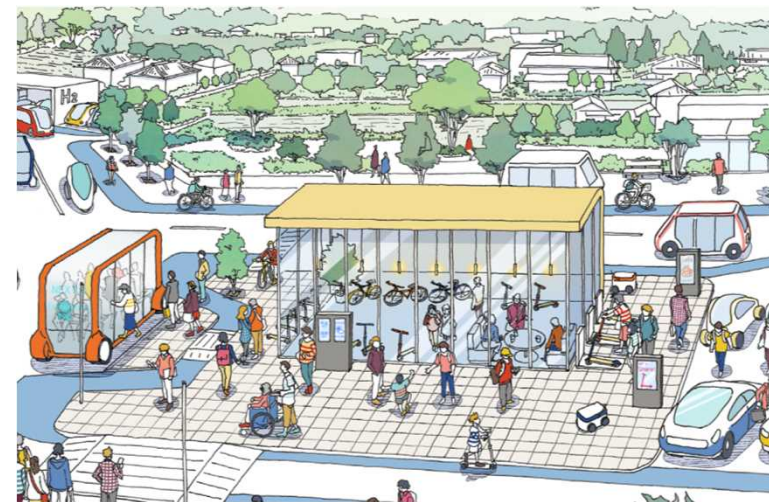


※<sup>3</sup> インフラ整備と一体となった車両について、効果促進事業において支援可能

※<sup>4</sup> 情報化基盤施設：センサー、ビーコン、画像解析カメラその他先進的な技術を活用した施設、サービス提供のための設備の導入、情報の収集・発信等のための基盤整備等



- ・市電の待合環境を改善（スロープ・停留所の拡幅・上屋設置）
- ・駅周辺のバス待ち環境空間を整備



- ・自転車利用の利便性向上により結節点の機能強化
- ・放置自転車の解消にも寄与

令和6年4月1日（月曜日）から、久留米市でシェアサイクルサービス「Charichari（チャリチャリ）」がスタートしました。



## ＞ サービス概要

身近な交通手段として自転車を共有することで、久留米市民及び来訪者の自転車利用の利便性向上を図り、日常の移動や観光拠点への周遊を活性化することを目的として、久留米市と「チャリチャリ」を運営するチャリチャリ株式会社が連携し、双方が持つ強みを活かしながら協働していきます。

## 特徴

- ＞ 公共施設や商業施設等に設置された多数のポート間移動が可能
- ＞ 「自転車を見つける」・「鍵をあける」・「料金を支払う」がスマートフォンで完結
- ＞ 1分単位の料金設定で、チョイ乗りに便利
- ＞ 小さめの20インチで、幅広い方の利用が可能



# 若年層にも配慮したまちづくり（こどもまんなかまちづくり）

こどもや子育て世帯が安心・快適に日常生活を送ることができるようにするため、こどものための近隣地域の生活空間を形成する「こどもまんなかまちづくり」を加速させ、関係局と連携しながら、こどもの遊び場や親同士の交流の場を整備するなど、こども・子育て支援環境の充実にに向けた取組を強力に推進する。





公園で遊ぶこどもの声に苦情が寄せられるなど、社会全体としてこどもを生き育てることをためらわせる意識・雰囲気もある中、こどもや子育て世帯が安心・快適に日常生活を送ることができるようにするため、こどもや子育て世帯の目線に立ち、こどもの遊び場の確保や、親同士・地域住民の交流機会の創出に資する都市公園の整備等を支援する「こどもまんなか公園づくり支援事業」を創設する。

## こどもの遊び場となる都市公園整備等への支援

- こどもや子育て世帯からニーズの高い身近にある都市公園の計画策定・整備等を支援する「こどもまんなか公園づくり支援事業」を創設。 【都市公園・緑地等事業】

### <支援イメージ>

計画策定（こどもの意見反映）

公園協議会やワークショップ等を活用した、こどもや子育て世代の意見を踏まえた公園の整備計画の策定を支援



大井坂下公園（品川区）

「公園づくりワークショップ」を通して  
こどもたちのアイデアを取り入れた公園整備

整備（遊び場の確保）

こどもの遊び場が不足するエリア等における公園整備を支援

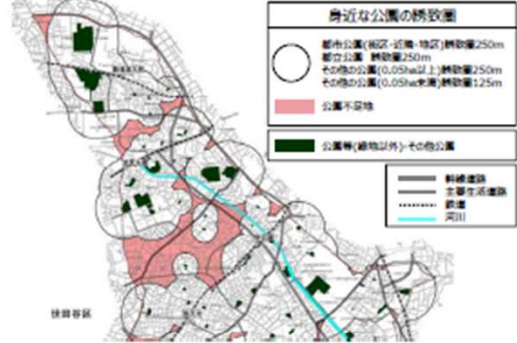


図 身近な遊び場の提供（誘致距離からみた公園不足地）  
出典：目黒区のみどり-2014年度みどりの実態調査報告書-  
こどもの遊び場が不足するエリアの分析

柔軟な利活用・安全確保

ボール遊びなど公園の柔軟な利活用に向けた社会実験や、地域住民と連携した点検体制の構築等を支援



地域住民と連携した公園施設に関する情報共有

- 周辺の市街地整備と住まいに身近な遊び場となる都市公園整備の一体的な実施に対する支援。【こどもまんなか公園づくり支援事業】  
周辺の市街地整備と、住まいに身近な遊び場となる都市公園の整備を一体的に実施する場合に限り、市街地整備と公共施設整備の一体的な実施のノウハウをもつ都市再生機構による支援制度を創設する。

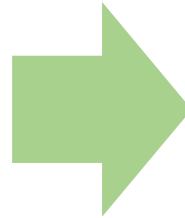


## 九州地方整備局管内におけるR7年度時点の活用状況

- 春日市こどもまんなか公園づくり整備計画（R6～R8） <福岡県春日市>
- 都市公園こどもまんなか公園づくり（R7～R9） <大分県別府市・国東市>
- 苅田町こどもまんなか公園づくり整備計画（R7～R11） <福岡県苅田町>
- 八代市こどもまんなか公園づくり（R7～R11） <熊本県八代市>

## 【事業イメージ】

こどもが安全・安心して遊べるように遊具や柵を新設





## 子育て世代活用支援センター（R4～5）

鹿児島県姶良市子ども館「ちるどん」・・・子育て中の親子に遊び・交流できる場を提供し、交流を通じての仲間づくりや相談等による不安解消を促進



中心市街地の商店街に位置し、立地適正化計画における都市機能誘導区域内に新たな人の流れを作り出し、回遊効果から加治木中心拠点地区全体の活性化による地域価値の向上を図る

### 館内のご案内

② 相談室



⑦ 多目的室



③ おむつ交換スペース・授乳室（奥）



⑤ キッズトイレ



④ 一時預かり室



⑥★ そらのひろば



⑥★ あそびのひろば



① 受付

ここで利用の受付を行います。

② 相談室

相談内容に応じて、プライバシーに配慮した個室対応を行います。

③ おむつ交換スペース・授乳室（奥）

個室になっており、おむつ替えや授乳時に使用できます。

④ 一時預かり室

保護者のリフレッシュや急な用事などに乳幼児を一時的に預かります。「一時預かりのご案内」参照

⑤ キッズトイレ

お子様が安心して利用できる専用トイレです。

⑥ キッズスペース

親同士が子育てについて情報交換したり、保育のプロ（スタッフ）と気軽に相談したりできます。

★ あそびのひろば

子どもの成長に合わせた空間作りをしています。スタッフが一緒に見守るので安心・安全に遊べます。

★ そらのひろば（半屋外広場）

砂場があり、夏場は水遊びができます。半屋外なので天候を気にせずに自然の風や季節を感じる事ができる空間です。

⑦ 多目的室

子育てに関する講習会や研修等に使用するほか、食事スペースとしても利用できます。

## 1 事業目的

乳幼児を抱える保護者の子育てを支援する取り組みの一環として、外出中の授乳やオムツ替えなど立ち寄ることができるような施設を「赤ちゃんの駅」として登録するもの。

登録された施設は、利用者が気軽に立ち寄れるよう目印となる表示旗を目立つ場所に掲示するほか、ホームページ「子育てマップ北九州」に掲載するなど利用しやすい環境づくりに努める。

区役所などの公共施設だけでなく、商業施設など民間施設とも協同してとり組み、地域社会全体で子育て家庭をささえる意識醸成を図る。

## 2 事業概要

### （１）登録要件

下記の①または②の設備を有し、市が定めるガイドラインに添ったもの

#### ①授乳の場を提供

- ・母親が人目を気にせず授乳できる場所を提供。
- ・ミルク用のお湯を提供（70℃以上沸かしてから30分未満対応可能な場合）

#### ②オムツ替えの場を提供

安心して利用できるようにするため、利用者の安全、衛生面を考慮した「実施ガイドライン」を作成し、担当課が現地を確認した上で、その基準に合った施設を「赤ちゃんの駅」として登録。

## 3 登録施設数：497箇所（令和5年7月25日現在）



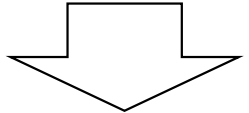


# 若年層にも配慮したまちづくり (道の駅)

## 第1ステージ(1993年～)

### 『通過する道路利用者のサービス提供の場』

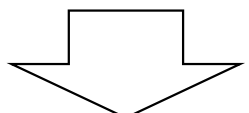
- 道路利用者が安心して休憩できる場を提供



## 第2ステージ(2013年～)

### 『道の駅自体が目的地』

- 地域の創意工夫により、道の駅自体が観光の目的地や地域の拠点に発展



## 第3ステージ(2020年～2025年)

### 『地方創生・観光を加速する拠点』

- 地方創生・観光を加速する地域の中心的な拠点として機能
- 「道の駅」同士の連携により、新たな地域づくりに貢献

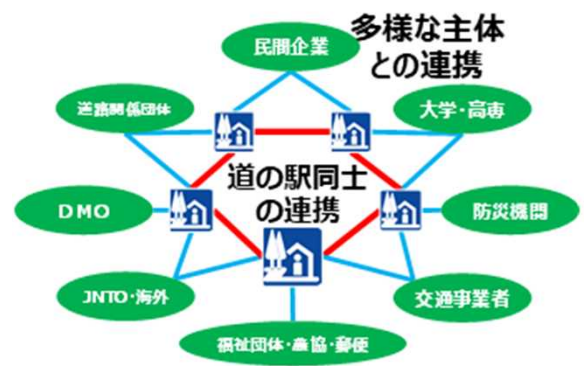


＜観光客や家族が楽しめる空間の提供＞  
※道の駅「川場田園プラザ」



＜加工場の併設により地域雇用の創出＞  
※道の駅「川場田園プラザ」

### 新たな「道の駅」ネットワーク



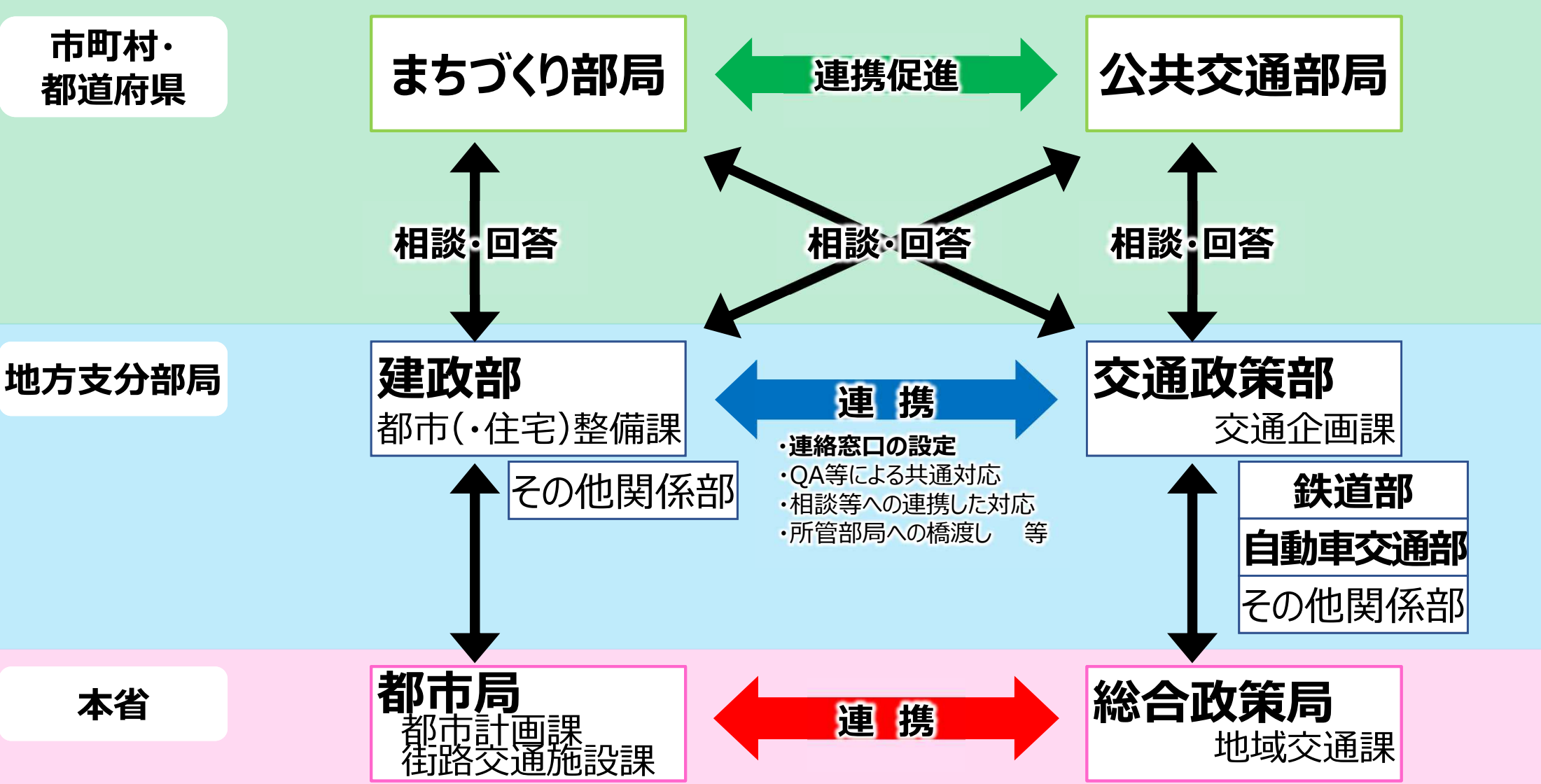
### 第3ステージの概要



## あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに

主な取組	概要
<p>子育て応援施設の整備</p>	<div><p>【子育て応援施設の事例】</p><div><p>おむつの小分け販売 いぶすき(鹿児島県)</p></div><div><p>ベビー用品自販機 くるめ(福岡県)</p></div><div><p>ベビーコーナー 北川はゆま(宮崎県)</p></div><div><p>オムツ交換台 使用中の様子 たちばな(福岡県)</p></div><div><p>子ども向けの遊具がある遊び場 都城NiQLL(宮崎県)</p></div><div><p>妊婦向け屋根付き駐車場 させぼくす99(長崎県)</p></div></div>





※上記に限らず、地方整備局、地方運輸局のどちらの窓口で受けてもワンストップで対応が可能なよう、日頃から密に情報共有を図ってまいりますので、まずは、地方整備局建政部、地方運輸局交通政策部・鉄道部・自動車交通部など、普段お付き合いのある部署にご相談ください！

**鉄道局** 鉄道事業課  
**自動車局** 旅客課